

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

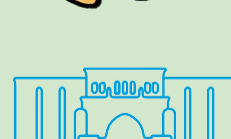
SDGs



For Sapporo worksheet

調べる・学ぶ・体験できる！

札幌SDGs探求学習ガイド



「SDGs」って何だろう？



SDGsはどのような歴史や現状から生まれてきたのだろう

1945年の国連創設以来、“言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救う”^{*}ために、基本的人権と人間の尊厳・価値を守ることが世界の大きな目標となりました（^{*}国連憲章前文）。この目的の実現のために、**世界人権宣言**を端緒として様々な**人権条約**が採択され、人権を守る仕組みが整えられてきました。同時に、厳しい状況下に生きる人びとの人権を守るための開発支援や環境保護活動も行われ、国際社会が協力して課題解決に取り組むよう、様々な宣言や開発目標が示されました。中でも2000年に採択されたMDGs（ミレニアム開発目標）という包括的な開発目標は大きな成果をあげました。

その一方で、“平均値”で見る進展の陰に取り残される人びとや、格差や暴力、気候変動など新たな課題の影響も顕著になり、緊急で大胆な解決策が必要と認識されるようになりました。そこで、“**誰ひとり取り残さない**（No one left behind）”世界の実現を掲げ、あらゆる国と人の目標としてSDGs（持続可能な開発目標）が作られました。

2000年から2015年まで MDGs（ミレニアム開発目標）

- 8のゴール（目標）、21のターゲット
- 途上国の課題解決を目標とし、先進国はそれを支援する
- 主に開発（社会）の目標
- 平均値で進展を測る

MDGsの成果

- 極度の貧困状態にある人の割合47%（1990年）→14%（2015年）
- 小学校の純就学率83%（2000年）→91%（2015年）
- 5歳未満児死亡率（1000人あたり）90人（1990年）→43人（2015年）
- 妊産婦の死亡率1990年以降45%減少
- HIVへの新たな感染2013年までに約40%低下 など

2016年から2030年まで SDGs（持続可能な開発目標）

- 17のゴール（目標）、169のターゲット
- 途上国も先進国も共通で取り組むべき普遍的な目標
- 社会、経済、環境三側面の調和に配慮する目標
- 全ての人のための目標の達成を目指し、最も脆弱な立場の人に焦点をあてる＝“誰ひとり取り残さない”

SDGsの特徴

- 多様な主体（政府、企業、市民社会等）の参加とパートナーシップが求められている。
- 野心的な目標とターゲット（目標達成を前提に、今すべきことを考え実行する「バックカスティング」の考え方）
- 子どもは保護の対象であるだけでなく“変化の主体”とも位置付けられている

「SDGs」って何だろう？



SDGs…Sustainable (持続可能な) Development (開発) Goals (目標) とは

SDGs (Sustainable Development Goals) は、国際連合に加盟する世界193か国が同意した、2030年までに世界中で達成されるべき目標のことです。

日本語で「**持続可能な開発目標**」とも言います。

SDGsのポイントは、「持続可能な開発」を掲げていることです。仮に社会や経済を発展させるために、山や森を切り開き、たくさんの資源を採掘したとしましょう。その結果、暮らしぶりが豊かになったとしても、資源を取り尽くしたり、環境が悪化したりしては意味がありません。私たちの世代はもちろん、次の世代、次の次の世代と、将来にわたって続けられる発展をめざそうというのが、「**持続可能な開発**」に込められたメッセージです。

SDGsは**大きな目標である17のゴール**、さらに具体的な目標である169のターゲットによって構成されています。右に挙げた17のゴールを見て、どういった分野にわたる目標なのか、日本に関係が深そうなのはどれか、そして自分が興味を持てそうなゴールがないかを確認してみましょう。



「SDGs」って何だろう？



SDGsの考え方 ⇒ 5つの「P」で考える (People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership)

SDGsには17の目標がありますが、それをさらに5つのキーワードで考えると、よりイメージがしやすくなります。

1 People (人間)



すべての人の人権が尊重され、尊厳をもち、平等に、潜在能力を発揮できるようにする。貧困と飢餓を終わらせ、ジェンダー平等を達成し、すべての人に教育、水と衛生、健康的な生活を保障する

2 Planet (地球)



責任ある消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通して、地球を破壊から守る

3 Prosperity (豊かさ)



すべての人が豊かで充実した生活を送れるようにし、自然と調和する経済、社会、技術の進展を確保する

4 Peace (平和)



平和、公正で、恐怖と暴力のない、インクルーシブな(すべての人が受け入れられ参加できる)世界をめざす

5 Partnership (パートナーシップ)



政府、民間セクター、市民社会、国連機関を含む多様な関係者が参加する、グローバルなパートナーシップにより実現をめざす

5つのP People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership

人間、地球、豊かさ、平和のための目標であり、国際社会のパートナーシップにより実現をめざします。



「SDGs」って何だろう？

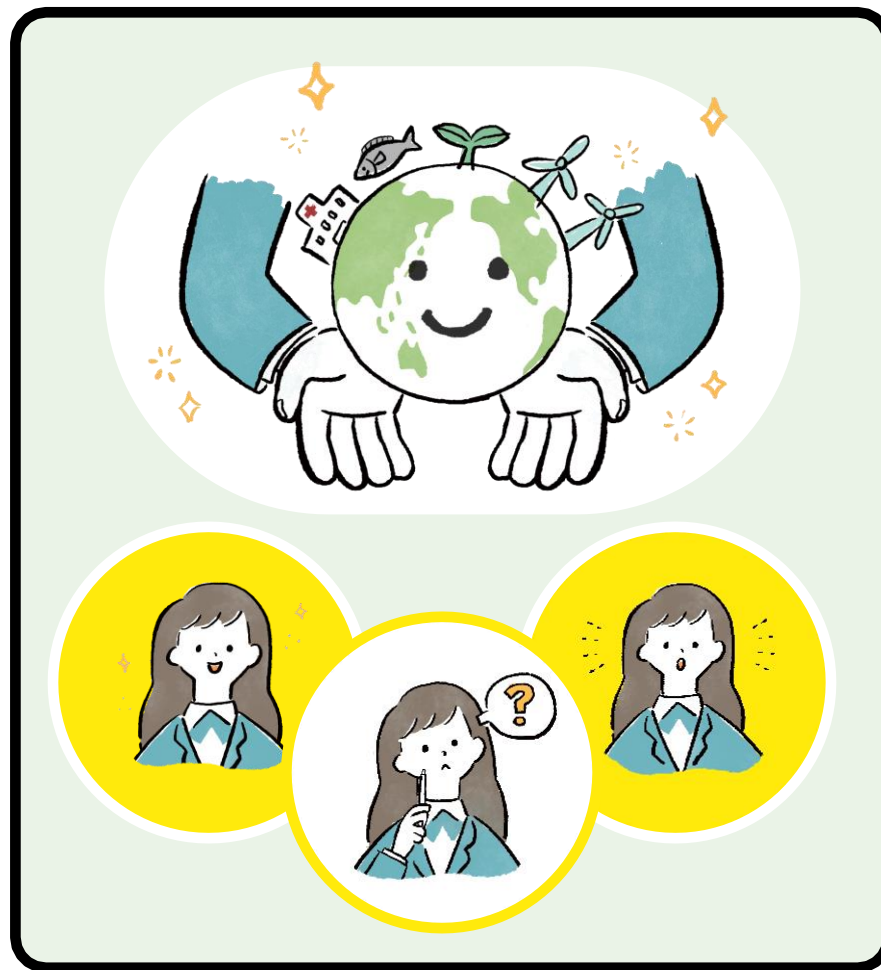


私たちの生活とどう関係があるの？

SDGsは発展途上国だけの目標ではなく、先進国も共通で取り組むべき重要な目標です。もちろん日本も例外ではありません。例えばゴール12「つくる責任つかう責任」などはまだ改善の余地がありますし、ゴール14「海の豊かさを守ろう」については、様々な取組を行っているものの、マグロのとりすぎで世界的に非難されたこともあります。

日本に深くかかわっているということは、私たちの生活にも深くかかわっているということです。例として、「つくる責任つかう責任」について考えてみましょう。この目標でわかりやすいのが、例えば「食品ロス」の問題。普段、お菓子を中途半端に残したり、冷蔵庫の中の古い食品を捨てたりしていないだろうか。私たちは実にたくさんの食品をつくり、食べずに捨ててしまっています。これこそ、SDGsで指摘されている、「つくる責任つかう責任」から離れた振る舞いです。はじめに挙げたマグロのとりすぎについても、日本食と大きなかわりがあるとすぐに気づけるはずです。

逆に言えば、私たちが日頃どう行動するかによって、SDGsの達成度は大きく変わるとも言えます。何を食べるか、何をを使うか、どう移動するか、誰とどう働くか。私たちにはその選択肢があって、一つひとつの行動で、SDGsに貢献することができます。それは学生であっても変わりありません。だから、年齢や性別に関係なく、多くの人々がSDGsを知ることがまず大切なのです。

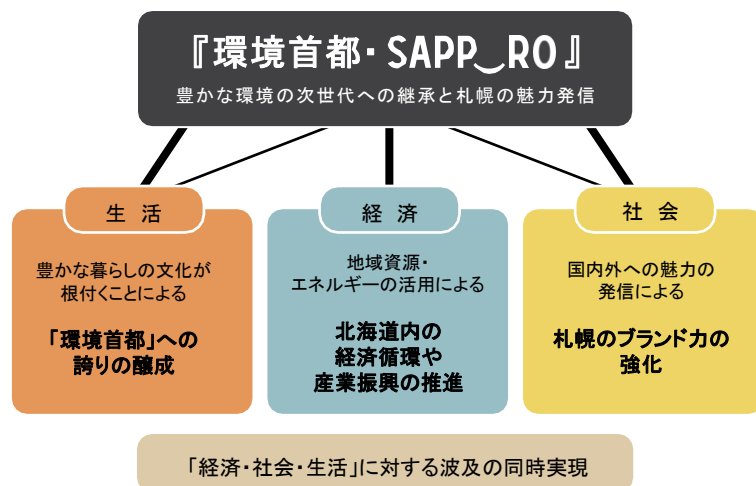


「SDGs 未来都市」「環境首都・SAPPORO」実現に向けて

札幌が目指す姿

「経済・社会・生活」に対する波及の同時実現に向けて、豊かな環境を次世代に引き継ぐと同時に、「豊かな暮らしの文化」が根付くことによる「環境首都」としての誇りの醸成や、「国内外へ魅力を発信」することによる札幌のブランド力の強化、そして「エネルギーや製品の地産地消」による北海道内の循環など、「生活」や「社会」、そして「経済」分野における効果を同時に実現した、「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な環境都市」を目指しています。

札幌の将来像のイメージ



● 将来の姿を実現するための5つの柱

- ①健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現
- ②積雪寒冷地に適した脱炭素社会の実現
- ③資源を持続可能に活用する循環型社会の実現
- ④都市と自然が調和した自然共生社会の実現
- ⑤環境施策の横断的・総合的な取組の推進



※「第2次 札幌市環境基本計画」より

「SDGs 未来都市」「環境首都・SAPPORO」実現に向けて

2030年のあるべき姿

2018年3月に策定した「第2次札幌市環境基本計画(計画期間:2018~2030年度)」では、環境施策の推進を SDGs 達成にもつなげ、経済や社会の分野へもその効果を波及させていくことを目指し、札幌の将来像として「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市『環境首都・SAPPORO』」と定め、持続可能な都市として以下の姿を目指しています。



市民一人ひとりが積雪寒冷地における生活のあり方を工夫し、改善し続けることで、将来にわたって自然の恵みを守り、札幌らしい豊かな暮らしの文化が根付いている都市

産学官民が協力して、地球温暖化対策や生物多様性の保全、持続可能な資源循環など、国や地球規模での環境問題の解決に率先して取り組み、国内外にその取組と魅力を発信している都市

北海道の豊富な自然エネルギーや資源を活用することで、エネルギーや製品の地産地消が進み、環境関連産業が発展した北海道内の経済的循環の中心となることが実現している都市

 「SDGs 未来都市」「環境首都・SAPPORO」実現に向けて

具体的な取り組み例：フェアトレードタウンさっぽろ

12 つくる責任 つかう責任



Action 1 for Goal 12 フェアトレードタウン

毎日のお買い物から世界をかえる

フェアトレードタウンとは、市民、企業、教育機関、行政などが一体となって「まちぐるみ」でフェアトレードの輪を広げる活動を推進している自治体を認定する世界規模の仕組みです。札幌市は、2019年6月に、全国5番目の「フェアトレードタウン」に認定されました。エシカル(倫理的)な買い物の輪を広げるために、市民・企業・学校・自治体が一体となって進めています。

探してみよう！
フェアトレード商品



食品

- ・コーヒー
- ・はちみつ
- ・野菜
- ・ワイン
- ・オイルシード
- ・紅茶
- ・カカオ(チョコレート)
- ・生鮮果物(バナナ等)
- ・穀類(キヌア、米)
- ・油脂果実(大豆、ごま、
- ・サトウキビ糖(砂糖、アイスクリーム)
- ・スパイス・ハーブ(コショウ、シナモン等)
- ・加工果物(ジュース、ドライフルーツ)
- ・ナッツ
- ・シアバター、オリーブオイル)

食品以外

- ・コットン ・ゴールド・シルバー ・切花・鑑賞用植物
・化粧品 ・スポーツボール ・みつろう（クレヨン、キャンドル）



フェアトレード普及啓発ポスター

探究的な学びでSDGsを理解する

SDGsの学習には、「探究学習」の手法が役に立ちます。自ら学習のテーマを設定し、体験で得た知識を参考にさらに考察を深めることで、将来の行動へとつなげていくという学習フローです。SDGs教育旅行@sapporoにはSDGsの目標達成に向け取り組む、様々な企業・団体などが掲載されています。その現場を体験し、自分ごととして考える機会にしましょう。



学習・体験のステップ



step 01 SDGsについて考えよう SDGsについての知識を再確認してみよう

- ① SDGsについて知っていることを書いてみよう
- ② 周りのメンバーと共有してみよう

step 02 相手を知ろう 訪問企業・団体などの情報や取り組みについて、まずは自分で調べてみよう

- ① その企業・団体などの歴史、どんな事業を行っているのか
- ② 訪問先の企業・団体などが取り組んでいるSDGsの内容について
- ③ 他企業・団体などではどんな取り組みをしているのか
- ④ その取り組みは社会にどのように貢献しているのか

step 03 調べた情報を整理しよう 調べてみて興味が湧いたことを可視化して、意見を整理しよう

- ① 訪問先企業・団体などについて気づいたことをまとめよう
- ② 企業・団体などへの訪問時に聞いてみたいことをまとめよう

step 04 調査して情報を集めよう 現地でしか得られない情報を見つけ、記録に残そう

- ① 企業・団体などの話や体験を通じて、気づいたこと、疑問に思ったことをまとめよう
- ② 訪問先企業・団体などに聞いてみたこととその回答をまとめよう

step 05 集めた情報を整理しよう 現地で収集した情報を整理して発表の準備をしよう

- ① 自分たちで収集した情報を整理しよう
- ② 最終発表の準備をしよう

step 06 アウトプットしよう 今までに学んできたことをまとめみんなに共有しよう

- ① 整理した情報についてメンバーと話し合おう
- ② 発表しよう
- ③ SDGsアクション宣言をしよう



この本の使い方

教育旅行は、実施前(旅マエ)、旅行中(旅ナカ)、実施後(旅アト)に分けられます。教育旅行中の体験をより充実したものにするために、STEP1～6の探究学習の流れを踏まえて、ご計画ください。



POINT

グループで話し合うことで、訪問先のイメージはふくらみます。友達と話すことは、自分の考えを整理したり、新しい発見をしたりすることにつながります。

学習・体験のステップ

旅マエ

旅ナカ

旅アト

step
01

step
02

step
03

step
04

step
05

step
06



step
01

SDGsについて考えよう

SDGsについての知識を再確認してみよう

- ① SDGsについて知っていることを書いてみよう
- ② 周りのメンバーと共有してみよう

〈記入欄〉話し合ったことや大切だと思ったことは書いてみましょう。メンバーの意見はとても大切な情報です。

記入した内容がどの目標に関連するのか考えてみよう





step
02

相手を知ろう

訪問企業・団体などの情報や取り組みについて、まずは自分で調べてみよう

- ① その企業・団体などの歴史、どんな事業を行っているのか
- ② 訪問先の企業・団体などが取り組んでいるSDGsの内容について
- ③ 他企業・団体などではどんな取り組みをしているのか
- ④ その取り組みは社会にどのように貢献しているのか

〈記入欄〉調べるときは、インターネットで検索や学校の図書館をうまく活用しましょう。

記入した内容がどの目標に関連するの考えてみよう





step

03

調べた情報を整理しよう

調べてみて興味が湧いたことを可視化して、意見を整理しよう

- ① 訪問先企業・団体などについて気づいたことをまとめよう
- ② 企業・団体などへの訪問時に聞いてみたいことをまとめよう

〈記入欄〉



step
04

調査して情報を集めよう

現地でしか得られない情報を見つけ、記録に残そう

- ① 訪問先企業・団体などの話や体験を通じて、気づいたこと、疑問に思ったことをまとめよう
- ② 訪問先企業・団体などに聞いてみたこととその回答をまとめよう

〈記入欄〉現地で見たことや聞いたこと、感じたことを忘れないようにしっかり書いておきましょう。

step

05

調査して情報を整理しよう

現地で収集した情報を整理して発表の準備をしよう

- ① 自分たちで収穫した情報を整理しよう
- ② 最終発表の準備をしよう



〈記入欄〉

学習・体験のステップ

旅マエ

旅ナカ

旅アト

step
01

step
02

step
03

step
04

step
05

step
06



step
06

アウトプットしよう

今までに学んできたことをまとめみんなに共有しよう

① 整理した情報についてメンバーと話し合おう

〈記入欄〉今回調べたこと、気付いたことが「点」になっているのではなく、「つながっている」ことを理解して表してみよう。

関連するSDGs目標

気づいた点をまとめた内容



学習・体験のステップ

旅マエ

step
01

step
02

step
03

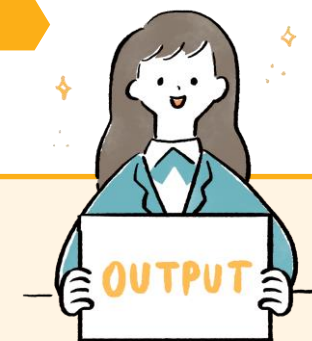
旅ナカ

step
04

旅アト

step
05

step
06



step
06

アウトプットしよう

今までに学んできたことをまとめみんなに共有しよう

② 他のメンバーの発表で気づいた点、感じたことを書き留めよう

〈記入欄〉

学習・体験のステップ

旅マエ

旅ナカ

旅アト

step
01

step
02

step
03

step
04

step
05

step
06



step
06

アウトプットしよう

今までに学んできたことをまとめみんなに共有しよう

③ SDGsアクション宣言をしよう

● 2030年ありたい姿

2030年、皆さんの多くは社会に出て、ひとりの大人として暮らしています。その時、あなたはどんな暮らしを送っていたいですか？例えばお金をたくさん持って裕福な暮らしをしたい人もいます。自然あふれる田舎でのんびりと暮らしたい人もいます。誰かと結婚して幸せな家庭を築きたい人もいます。あなたが2030年にありたい姿を記入してください。

〈記入欄〉

● SDGsアクション宣言

また、あなたが望む姿を実現する為には、明日からどのようにSDGsへ貢献していく必要があるのでしょうか。持続可能な社会への実現は、みんなが望む世界にきっと繋がるはずです。最後にあなたなりの『SDGsアクション宣言』をしましょう！

〈記入欄〉

アクション宣言に関連する目標に○をつけてみよう

